

<p>ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレームキット 販売施工 名取屋興産株式会社 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002</p>	<p>耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波測定等コンクリート建造物の総合診断会社</p> <p>三協 株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080 http://www.sankyo-net.co.jp</p>
--	--

連載：北部ところ何処

東村山市、清瀬市、東久留米市
小平市、西東京市、武蔵野市

●「もう一度仏像はいかがですか」 (有)関建築研究所 新宿区西早稲田

「もう一度仏像…」と意気込んでみたものの、なかなか筆が進みません。現在、仏像鑑賞の入門書がたくさん出版されています。その内容をここで事細かに紹介しても、あまり意味がないように思います。私の仏像体験でも書きましょう。私はTV番組の中である仏像に感銘を受けました。それは中宮寺(奈良県)の菩薩半跏像です。目の前の黒光りした一体の仏像に私は目を見開きました。あまりにも優しい笑みをうかべた顔は全てを包み込んでくださるようでした。そして、こころの中のしこりが氷のように溶けるのを感じたのです。

まれにみる体験でした。仏像に秘められた何かを感じずにはおれませんでした。

それが何かはわかりません。仏師が刻み込んだ救済への思い、長い年月仏像の前で合掌してきた衆生の思い。いろんなものがない交ぜになって仏像に力を与えているのでしょう。失恋をして自分に自信をなくした人、生きることに虚しさを感じた人、病に冒され体調を崩した人。たくさんの人が仏像の前で手を合わせ、涙を流して元気を取り戻しています。

私は仏像が現代におけるカウンセラーの役目を果たしていると思うのです。

カウンセリングは意見を言うのではなく、ただ聞いてあげるとい治療方法です。

仏像は、黙って人々の思いを受け止め、回復へのオーラを発してくれているのでしょう。

いつか、私も中宮寺を訪れ、菩薩様の前で涙を流したいものです。

●支部スケジュール

6月	多摩建築指導事務所連絡会(6/14) 第2回武蔵野市住宅対策課連絡会(6/26)
7月	耐震診断ピアチェック(7/4) 暑気払い・役員会(7/20)
8月	耐震診断ピアチェック(8/4)
9月	建築ふれあいフェア2012準備

●支部関連イベント

6月	本部通常総会(6/25)
7月	第2回第6ブロック会(7/27)
8月	
9月	TAAF2012年度海外研修旅行(9/2~9/9) 建築ふれあいフェア(9/30~10/2)

●広報特集予告

夏号	新業務への展開：魅力ある支部とするため、講演会の開催(有料)、支部開発プロジェクト、耐震設計業務の受注、耐震診断に並ぶ調査業務の発掘。
冬号	リスクマネジメント：業務の減少が続く中、ユーザーからは厳しい条件を突きつけられることが多い。今後の業務のリスクと分散について調査し、支部の役割を明確にする。
春号	「コミュニティービジネス」の有望性を模索し、事務所協会北部支部としてどうかかわるか、関わり方の提案を行う。

季刊 広報 ほくぶ 初夏号
第3号(6月10日発行)

発行：(社)東京都建築士事務所協会 北部支部
住所：〒188-0011 西東京市田無本町4-9-1
測量センター内
メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org

特 集

沿道耐震について

生コン販売・ALC(ｸﾘｯﾌﾟ)・耐火被覆他
日興産業株式会社
TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

●福室 武 耐震診断の中で見た高齢化社会 ふくむろ建築設計事務所 東村山市廻田町

耐震診断業務がいろいろな方々の指導のもと2年余りが経ちました。診断の為、訪問した一戸建住宅の中で老夫婦だけの世帯が多いのに驚かされ、老老介護問題、バリアフリーの必要性が問われるのも当たり前のようなものでした。老人を介護する子供たちがいない(介護対策)、老人をおんぶする子供たちがいない(バリアフリー対策)、少子化だけの問題だけでは無さそう。子供たちを育てた親は、遠慮のためか同居していない。子供たちは、親の遠慮の中で看なければいけないと思いつつ時は過ぎていきます。

子供たちが親をみとれない事情は住宅問題も大きく関わっており、また長年住み慣れた地域のため簡単に同居のための転居も出来ず、さりとて法的制限の中で増築するのも難しい現状です。

共同住宅の大家さんにもいろいろと頭の痛い問題を抱えており、高齢化社会の急速な進展のなか、高齢者単身世帯等の増加が見込まれ、賃貸人の火の不始末、家賃滞納、生活保護受給者の入居などを不安に感じています。このための制度として高齢者の入居を拒否しない高円賃(高齢者円滑入居賃貸住宅)及び高齢者が専ら入居する高専賃(高齢者専用賃貸住宅)があります。

このような制度を広く周知して頂くために事務所協会として開催しているイベント等で、ご案内して高齢化社会の中で少しでも支援出来ればと思います。

○新会員紹介

会員名称	専任者	所在地	電話番号	FAX番号
一級建築士事務所アトリエティスリー	熊切 寛	189-0001 東村山市秋津町1-10-10	042-396-4548	042-319-2468
一級建築士事務所(株)寺嶋建築設計事務所	寺嶋 保男	189-0014 東村山市本町2-19-21	042-395-5175	042-395-5180
良建築設計事務所	浅野 良明	189-0022 東村山市野口町1-1-3	042-393-8636	042-393-8636

 <p>見玉コンクリート工業株式会社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9 http://www.kodama-conc.jp</p>	<p>アルミニウム製建具、鋼製建具 YKK AP株式会社 東京ビル建材統括支店立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町1-27-10 読売立川ビル6F TEL : 042-521-1020</p>
--	--

エントリーしたのは4回目であったが今回の「東京マラソン 2012」から一般参加枠はフルマラソンのみで10キロメートル枠はハンディキャップの人のみに変わっていた。いつも高い倍率で抽選に当たったことが無かったので軽い気持ちでエントリーしたが、果たして見事に当たってしまったのである。初のフルマラソンに挑戦という事になってしまった。

たまたま走る羽目になってしまった事で、原稿の依頼があったのだが、まず頭の中でひらめいたのは「ランナーから見た東京のまちなみ」というテーマであった。ところが走ってみたらとんでもない、そんな余裕はさらさら無い。ゴールを目指し時計を見ながら今が何キロ地点だからペースは速すぎないか、次の給水ポイントはどこか等、到底周りの景色を眺めている余裕は皆目無いのである。やっと手に入れた出場権を無駄には出来ないと、自分なりに準備をしてきたつもりであったが。

スタートがまず大変である。当日の天気は曇り、気温6度。ランナーは夥しいその数3万6千人、出発するのに時間もかかる。最初と最後では30分ぐらいの違いが出てしまうのである。寒いところで待たされるので指先が冷たくなり体が震えてくる。石原知事の開会の挨拶があったが、くれぐれも無理をしないよという言葉、やっとな新宿の都庁前をスタート出来たのは9時10分の号砲から10分位過ぎた頃であった。

やっとな走り始められるということ、緩い下り坂で尚且つ沿道の大勢の応援の声で知らず知らずのうちにスピードが早くなってしまふのである。東京マラソンの経験者のアドバイスでは、最初にスピードを上げ過ぎると後が続かなくなると聞いていたが、どうしてもハイペースになってしまう。神楽坂あたりで南相馬市長のグループに追い越された。市長はかつての駅伝の選手だったそうである。胸に南相馬市の斜め襟をまとい、周囲から励ましの声を受けていた。私も思わず近寄って握手して声をかけていました。「復興頑張ってください！遠くから応援していますよ」と。

東に向かって走り続けていたが、日比谷公園あたりで右折して南向きになると、10km 枠ランナーのゴールが過ぎたことから、少し空いて来て着ぐるみの派手な人も少なくなってきた。日比谷通りを下り始めると反対車線には、もうそこに先頭集団の招待選手らが折り返して来ていた。トップランナーの速さを思い知らされた。

ところで東京マラソンも今回で第6回目になる。世界の有名な市民マラソンにはロンドンマラソン、ボストンマラソン、ベルリンマラソン、シカゴマラソン、ニューヨークシティーマラソン、ホノルルマラソン 等があるが、東京マラソンも少しずつ世界に認められるようになりつつあるようである。

東京マラソンの経済効果はプロ野球キャンプなどと比べると桁違いに大きいらしい。2012年プロ野球キャンプ in 沖縄が約85億円(りゅうぎん総合研究所)に対し、東京マラソンは約240億円(関西社会経済研究所)というデータもある。早稲田大スポーツ科学術院の原田宗彦教授によると、経済効果を増大させる条件は「地元以外の参加者をいかに集めるか」にかかっているという。最近知ったのであるが、一年中日本の何処かでマラソン大会が模様されているようである。自転車、バイク、山登り等の大会も目白押しである。

今年の東京マラソンは定員3万6000人に対し、申し込みは約28万4000人で9.6倍の競争率ということで、どうしても走りたいという人もいたのか、10万円以上を寄付すると参加できるチャリティーランナーが1743人もいて、過去最多となったとの事である。

一方今回の成績では日本人のトップは30歳の無職のランナー藤原新選手で、2時間7分台と歴代7位の走りでも2位に入りロンドン行きを確実にした。

さてフルマラソン終盤に待ち構える最大の難所は「30kmの壁」とよく言われるが、東京マラソンでは佃大橋あたりがその地点にあたるようだ。橋が連続して細かいアップダウンが続く場所、疲労も極限状況になってくる。廻りはみんな歩いていたが私はかろうじてスローペースで走っていた。沿道の大応援が背中を後押ししてくれたおかげで、東京ビックサイトのゴールまでついに完走する事が出来たのであった。忘れかけていた高校時代の強歩大会の思い出が脳裏をかすめた。



自動ドア・ステンレス建具



ナブコシステム株式会社

西東京支店
〒186-0003 国立市富士見台2-31-1
TEL : 042-575-1725
<http://www.nabcosystem.co.jp>

2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。








システム・INAX・新日程・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

株式会社 LIXIL 東京西支店
東京都昭島市田中町610-3
<http://www.lixil.co.jp>

日経新聞5月14日のコラム「核心」に「団塊、嫌われぬ老後を」と題するものが掲載された。

「いい思いをしてきた戦後のベビーブーマー世代が実に多くの問題を若い世代に押しつけている。・・・

80歳以上は戦争や空襲など、70歳代は食糧難などで苦しんだ。・・・

貧しさに耐え高度成長の礎を築いたのも70歳代以上が中心、その果実をいただいたのは団塊の世、団塊の世代の社会への貢献といえば、レジャーブーム、バブルの恩恵・・・

社会から得たものは多く、与えたものが少ない世代、団塊の世代は社会に何が還元できるのか」

と痛烈ですが、この世代の一員である私も納得させられる面もあります。恵まれすぎ、中には苦しい団塊の世代もいると思いますが、完全にリタイヤする前にやることあるはず。すでにボランティア、社会奉仕など実際に始めた人もいます。

建築士事務所協会の会員の中にも、団塊世代が多くおります。また会社を退職しリタイヤした建築士の方で、「毎日が日曜日の方」も多数おられるかと思います。

この世代の建築士は職能技術を生かし、高度な社会還元を行うことが可能であり、それを取り込む仕組みができることが望めます。この世代はシャイなので、自分から進んで東北へのボランティア活動などに出かけていくことができないのです。

たとえば昨年後半から始まった「特定沿道建物の耐震診断など」は団塊世代の建築士を取り込み、社会奉仕活動と考えられるのではないのでしょうか。

また「東京都防災ボランティア」は震災のためのボランティアなのですが、この人たちも「特定沿道耐震など」への参加を誘導することでかなりのパワーになりと考えられます。

現行のように補助金だけを出すのではなく、使われていないパワーをくみ取った事業の実現が望まれるのではないのでしょうか。

しかしながら大きな問題は耐震診断が一般の建築士にはなかなか手を出しにくい領域だということです。これは診断専門家が知恵を絞って取り組みやすい形を至急開発する必要があります。

また沿道耐震の事業化の手順を変える必要もあります。

すべての建物を診断するのではなく、都市計画の観点から戦略的に対象建物を考えることと、個別の状況から診断方法を見極めることが必要かと思えます。

前者は緊急輸送道路沿道だけを対象とするのではなく、耐震建物の分布状況と道路のネットワーク化を検討した上で、必要な道路沿道建物を耐震化する事業が考えられるのではないのでしょうか。

また後者については、建物所有者からヒヤリングしたり、建て替え熟度でグルーピングしたりして、対象建物の選定を行い、補強の有無や建て替え誘導建物などに分類し、それに対応した建築士が参加することで、構造建築士だけの参加でなくなり、より広い建築士の参加が可能になるかと思えます。補強希望のケースは慎重な診断を行い、専門家の助言や指導を受け、再度診断・補強計画を行うこともあるのでしょうか。

「沿道耐震」についてだけ考えても「団塊世代の建築士の社会還元」は可能であり、やりがいのある活動かと思えます。

今後の皆様方のご参加を期待いたします



東京都東村山市秋津町3-50-3
042 (393) 1177

ご相談下さい

雨漏れ問題

防水工事・外壁工事

雨上がり なぜかポタリと 家の中